

平成 2 9 年度学校評価計画

平成 2 9 年 4 月 1 7 日
鳥取県立鳥取湖陵高等学校

1 目 的

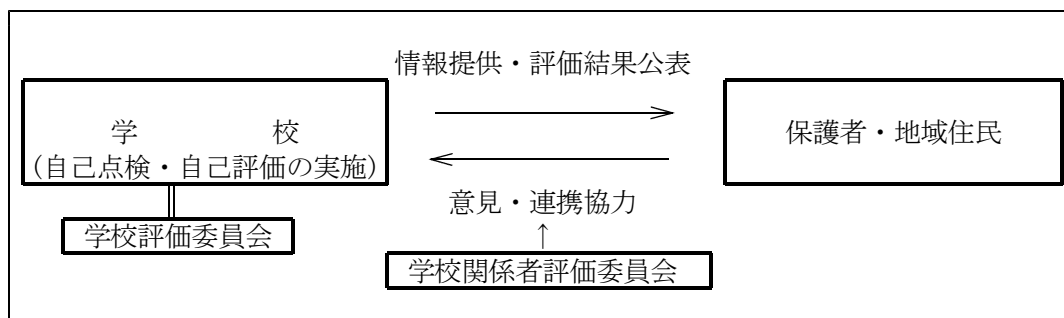
「生徒・保護者・地域から信頼され、地域に開かれた学校づくり」を目指し、生徒の学習状況や教育課程の実施状況、生徒指導上の課題などについて、自己点検・自己評価を実施し、学校運営や教育活動の改善に役立てる。

また、これらの自己点検や自己評価のねらいや結果を保護者や地域社会に説明し、外部の意見を取り入れるなどして、「信頼され、開かれた学校づくり」を推進する。

2 方 法

- (1) 学校内に「学校評価委員会」を組織するとともに、全職員で学校評価に取り組む。
- (2) 生徒、保護者へのアンケートはもちろん、必要に応じて地域住民、企業などを対象としたアンケートを実施し、それらの結果を分析した上で本校への要望などをもとに、その使命を明らかにし、教職員がそれを共通に認識することによって学校の組織力と実行力を高める。
- (3) 県立学校の教職員以外の評価者によって構成された「学校関係者評価委員会」を設け評価の客観性を高めるための学校関係者評価を実施する。
- (4) 評価結果（自己評価・学校関係者評価・検証資料）を分析し、次年度に向けて教育内容の改善を図る。

3 学校評価の内容



4 学校評価体制

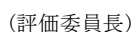
<基本的考え方>

既存の各分掌チェック機能を活用しながら、自己評価のための学校評価委員会を組織する。加えて、県立学校の教職員以外の評価者によって構成された学校関係者評価委員会を組織する。

<学校評価委員会の主な役割>

- 学校評価に関する企画、原案作成
 - ・学校評価全体計画
 - ・評価様式案作成（自己評価表、項目別評価表）
 - ・検証資料（成果指標・取組指標）の作成
 - ・評価結果公表資料作成
 - ・次年度改善案作成
- 評価結果の集計・分析
- 学校関係者評価委員会との連携協力

(評価委員長)



(評価委員長)

4月	学校教育方針・目標 (PLAN)	・学校評価委員会
5月	本年度重点目標	⇔ 職員会議 ・自己評価表作成・提出 ・自己評価表をHPに公表
4月～7月	学校教育活動実践 (DO)	⇔ 第1回学校関係者評価委員会 ・学校関係者評価委員へ目標説明 ・目標等に対する学校関係者評価 ・生徒・職員アンケート実施
9月	中間分掌評価・中間自己評価 (CHECK)	・評価検証指標の作成
10月～3月	具体的方策修正・実践 (ACTION) (DO)	⇔ 学校評価委員会 ・評価検証指標の検討 ・中間自己評価表の作成 ・1学期の評価結果に基づく改善案検討 ・企業アンケートの実施 (インターンシップ時) ・生徒・保護者・職員アンケート実施
11月		・評価検証指標の作成
12、1月		
2月	年度末分掌評価 (CHECK)	
2～3月	最終自己評価 (CHECK) ※各学年・学科・分掌の評価をまとめて最終自己評価表を作成 (自己評価の総括・総点検) 学校関係者評価 (CHECK)	⇔ 学校評価委員会 ・評価検証指標の検討 ・評価結果の分析・資料作成 ・自己評価表の作成・提出 ⇔ 第2回学校関係者評価委員会 ・学校関係者評価委員に意見聴取
3月	次年度へ向けて改善方策 (ACTION & PLAN)	・HPによる評価結果の公表 ・評価方法の見直し ・評価結果分析に基づく改善策検討